

国語 五―一	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日  
月 日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味  
を選び、線で結びましょう。

① 話を聞きながらあいづちを  
うつ。

・ 相手を自分よりも下にみる。

② 草原であおむけに寝  
た。

・ 相手の話に調子を合わせ、うな  
ずく。

③ 考えに考えたあげく、行くの  
をやめた。

・ ずうずうしい。

④ あつかましいにもほどがあ  
る。

・ 上を向いた状態。

⑤ あなどると大変なことにな  
る。

・ 結局。



国語 五―三	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
り  
組  
ん  
だ  
日  
月  
日

次の文の 言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

- ① 食べ物がふんだんにある。 ・ ・ ・ ほのかにあらわれるようす。か  
すかに。
- ② 校長先生はしなやかに歩く。 ・ ・ ・ おこつてふきげんになる。
- ③ 梅の花がほんのりとかおる。 ・ ・ ・ やわらかで、美しい様子。
- ④ じになる。 ・ ・ ・ あいてのいきおいに押されて、  
負けそうになる様子。
- ⑤ 弟はちよつとのことですぐむ  
くれる。 ・ ・ ・ 多く。たくさん。豊かに。

国語 五十四	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 今日こはるびよりは小春日和だ。  
・ 冬のはじめのころのあたたかく  
ておだやかな天気。

② たわいない話がとても大切な  
ときもある。  
・ 自分とはまったく関係のない、  
まったくの他人。

③ あの人は赤の他人とは思えな  
い。  
・ くだらない。まとまりがない。

④ 青二才の君にできることでは  
ない。  
・ 夜がまだすっかり明けきららない  
ころ。

⑤ 台風は明日の未明に関東にせ  
つきんする。  
・ 年がわかなくてもものごとになれて  
いない人。

国語 五一五	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
組んだ日  
月  
日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 休日は昼下がりまで昼ねをした。  
 ・ 何日間も降り続く雨。  
 ・ 正午を少しすぎたころ。

② 買い物をしていたら、にわか雨がふってきた。  
 ・ 秋から冬になるころ降ったりやんだりする雨。

③ 時雨もよう  
 ・ 急に降り出してすぐにやむ雨。

④ 秋の長雨  
 ・ 六月ころに降り続く雨。つゆ。

⑤ 五月雨  
 ・

国語 五十六	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① あいてのいきおいにひるむ。 ・ ・ ・ いきおいがくじける。おじける。

② 今日はたてつづけにテストが ・ ・ ・ わけも聞かないで、いきなり決  
あつた。 ・ ・ ・ めつけること。

③ この味が一番口に合う。 ・ ・ ・ こんがりやけたような良いかお  
りがする様子。

④ パンがこうばしくやきあがる。 ・ ・ ・ 食べ物や飲み物の味がこのみに  
あう。

⑤ 頭ごなしにしっかりつける。 ・ ・ ・ 同じようなことが連ぞくしてお  
こなわれること。

国語 五十七	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

取り組んだ日 月 日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味  
を選び、線で結びましょう。

① うまくいえなくて本当にもど  
かしい。

- ・ 思うようにならないで、いらいらする。はがゆい。じれったい。

② せっかちにうごきまわる。

- ・ 思い通りになって、満足そうな

③ 百点を取って得意顔にな  
る。

顔つき。

- ・ 気短であること。気短な人。

④ いたずらをして何食わぬ顔  
をしている。

そしらぬ顔。

- ・ 何も知らないようなすまし顔。

⑤ ずけずけと意見を言う。

- ・ えんりよしないで、ものを言う様子。

国語 五十八	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

とく  
り  
組  
んだ  
日  
月  
日

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

① 友だちの顔色をうかがう。      ・      ・      顔つき。      表情。

② ぼくにえんりよするなんて水      ・      しかる。      いましめる。  
くさい。      ・      思いがけないようす。      いきなり。

③ ちこくをたしなめた。      ・      とつぜん。

④ だしぬけに聞かれてもへんじ      ・      よそよそしい。  
にこまる。      ・      。

・      自分の専門とちがうこと。

⑤ 畑ちがいの仕事につく。      ・      。



国語 五十九	第三学年及び第四学年の内容 語い②	名前	年	組	番
-----------	----------------------	----	---	---	---

次の文の \_\_\_\_\_ の言葉の意味

を選び、線で結びましょう。

- ① 仲直りの橋渡しはしわたをした。      ・      ・      間に入って世話をすること。
- ② 弟に八つ当たりする。      ・      ・      さけることができない。
- ③ のっぴきなならない用事ができ      ・      ・      つぎつぎ。続けざま。  
た。
- ④ 矢つぎ早に質問する。      ・      ・      目的地に着くとすぐまた、もど  
ること。
- ⑤ 京都までとんぼ返りで行って      ・      ・      腹を立てて、だれかれかまわず、  
きた。      ・      ・      おこりちらすこと。